

謝罪力で無敵 49



テレビでのマスコミ騒動の中に、スポーツ界におけるセクハラ・不正判定・暴力試合などがある。企業においては、審査基準不合格の物を使って工事をしたり、大学においても、不正合格者を出している。どれも内容自体大変問題がある。マスコミ等で、問題が発覚し、責任者は謝罪をするが、マスコミ騒動は、すぐには収まらず、日に日に問題がエスカレートしてしまう。

マスコミは、追求の手をゆるめない。どうしてであろうか。おそらく、すぐに謝罪をしようとしなくて、社長や上司は知らなかったと逃げる、責任を現場や部下に押しつけようとする、謝罪の誠意が見られないなどの理由から、社会の怒りが爆発し、収まりがつかないであろう。

社会全体が、なかなか自分たちの非を認めようとしなくて、謝罪できない傾向にあるように感じる。個々人においても、自分が悪かったり、迷惑をかけることがあっても、すぐに謝罪することはないように思える。責任を追及されるのが、怖いのもかもしれない。

つまり個々人や個々企業等における謝罪力が弱いのである。人間の世界においては、何かを成し遂げようとする、失敗・過ち・迷惑など起こるのは、当然のことである。それ故、謝罪は必然的につきものである。謝罪をすることを遠慮することは、全くない。心の中で、謝罪の必要性を認めたらば、どんどん謝罪をしよう。

謝罪ができる人ほど、信頼できる人である。謝罪に当たっては、素早すること、情報公開すること、責任者・代表者がすること、誠意を持つこと、具体的な対策と今後の予定を明確にすることなどに、十分配慮できると、謝罪力が向上するでしょう。

謝罪力は、あなたを守り、無敵にしてくれます。強い人・年上の人に対してだけでなく、弱い人・年下の人にも、積極的に謝罪できる人になれるといいですね。



失敗よ、ありがとう 82



友だちとの人間関係に失敗した。新しく事業を始めたが、上手くいかず失敗した。仕事のノルマを割り当てられたが、段取りが上手くいかず、ノルマを達成できなかった。体育の授業で、記録を目指して、取り組んだが失敗した。このように、失敗の経験は、誰でもあることだと思います。失敗がない人は、おそらくいないと思います。

失敗したことを悪く思うかもしれませんが、**失敗は、挑戦したことの証であり、成功のためのよき経験です。失敗を非難するのではなく、逆に「失敗ありがとう」と感謝する姿勢ことが大切です。**ことわざに、「失敗(しっばい)は成功のもと」があります。この意味は、失敗すれば、その原因を反省し、方法や欠点を改めるので、かえってその後の成功につながるという意味です。まさに「失敗は成功の母」です。

ここで、失敗に関する三つの名言を紹介します。

○ わたしは、今までに、一度も失敗をしたことがない。電球が光らないという発見を、今まで二万回したのだ。それは失敗じゃなくて、その方法ではうまくいかないことがわかったんだから成功なんだよ(トーマス・エジソン)

○ 世の中に失敗というものはない。チャレンジしているうちは失敗はない。諦めた時が失敗である。(稲盛和夫)

○ 失敗の原因を素直に認識し「これは非常にいい体験になった」というところまで、心を開く人は、後日進歩し成長する人だと思います。(松下幸之助)

失敗は、マイナスでは、ありません。果敢に新しいことに挑戦し、小さな失敗を積み重ねていきましょう。そして、失敗を恥じる必要はありません。失敗に感謝して、さらなる成功への道を切り開いていきましょう。



ビリでも笑顔 94



マラソン大会において、ビリでゴールした人に対して、あなたは、どのような感情を抱きますか。ビリの人は、恥ずかしい。ビリの人は、もっと頑張っただけだった。ビリでゴールする人を待つ時間がもったいない、などいろいろな感情があると思います。

あるマラソン大会において、ビリの人は、ゴール近くで、応援者に手を振りながら、笑顔でゴールしていました。そして、ビリでゴールした人には、周りにいた全ての人から、労いの大きな拍手が湧き起こりました。1位でゴールした人に対してより、大きな拍手でした。みなさんとっても温かかったです。ビリの人も日頃の練習の成果が出せて、大満足でした。ビリを気にしている様子は、まるでなく、最後まで完走できた喜びで、笑顔がいっぱいでした。

マラソン大会に出て、1位の人もビリの人も、全ての人が、最後まで精一杯頑張ったのです。自分のペースで、最後まで走り抜いたのです。ビリだからと恥ずかしがる必要は、全くありません。ビリだからと、冷たい視線で見たり、嘲る必要はありません。ビリでも何の問題もありません。自然のままのビリでいいのです。

人生においてもそうです。あなたは、ビリになることを恐れたり、気にしたりすることはありませんか。**ビリでもいいのでは、ないでしょうか。ビリを気にして、行動できないことの方が、心配です。人のことを気にする必要は、ありません。自分が、どれだけ行動できるかが、大切なのです。ビリでも頑張った自分をほめ、いつも笑顔でいたいものです。**



心の油断が大敵に 101



- 頼まれた物を、明日の朝一番で届けば、予定の時間に、間に合うだろうと思っていたが、時間までに届けられなかった。
(交通機関が混んでいて、間に合わなく、先方に大変迷惑をかけた)
- 製品を出荷するのに、点検しなくても大丈夫だろうと思い出荷した。
(中に不具合の製品があり、その後の取引ができなくなった)
- 報告書を提出しても相手は、詳しく見ることはないだろうと思い簡単な報告書を提出した。
(再度詳しい報告書を求めてきて、信頼を失った)
- 友だちとの約束が守れなくても、相手は許してくれるだろうと思い約束を守らなかった。
(相手から嫌われた)

このような経験は、誰にでもあるかもしれません。何とかなると油断をしてしまい、何ともならないのです。そんなに世の中は、甘くはないのです

諺に【油断大敵(ゆだんたいてき)】があります。これは、注意を少しでも怠れば、思わぬ失敗を招くから、十分に気をつけるべきであるという戒めです。**心の油断は、どんなものより恐るべき敵になります。**では、どう気をつけたらいいのでしょうか。

- ☆ 心の油断が生まれないう、心の厳しさを求める
- ☆ 約束事や契約等を一つ一つ確実に守るようにする
- ☆ 何かあっても困ることがないよう、早め早めの対応をする
- ☆ 一つ一つの物・事に対して、確認・点検を怠らない
- ☆ もしも出来なかった場合、どう誠実に対応するか対策を考えておく

今国会では、厚生労働省の不正統計問題が議論されています。これは、決められたルールに従って、統計がなされていなかったからです。そのせいで、適切なお金の支給が、多くの方々になされてなく、多大な迷惑をかけています。これは職員が、真面目に処理すると大変だと思い、楽な処理をしてしまったせいです。まさに、心の油断が大敵になってしまいました。優秀な国家公務員の職員ですら、心の油断があります。皆さんも十分肝に銘じて、油断しないように心がけましょう。



濡れ手で粟にご用心 127



諺に、「濡れ手で粟」があります。この意味は、濡れた手で粟をつかめば粟粒がたくさんついてくるように、ほねをおらずに多くの利益を得ること。やすやすと金もうけをすることです。

世の中には、「濡れ手で粟」のようなことは、ありません。**お金とは、世のため・人のためになったことへの感謝として、いただくものです。決して楽をして、いただくものでは、ありません。**

しかしながら、世の中には、「濡れ手で粟」のような誘いがたくさんあります。

- 外国通貨を売買する投資
- 株に投資
- マンション購入で、賃貸経営
- 悪質な金融商品の勧誘や販売
- 産地・生産者・商品からなるオーナー制度の悪用
- パチンコ・競馬・競輪・競艇・カジノなどのギャンブル

あなたは簡単に、儲かる話に乗ったりしていませんか。**うまい話やうまい儲け話は、絶対に存在しません。世の中楽して儲けられることは、あり得ません。**心を成長させる自分磨きに、近道が存在しないように、お金を稼ぐことにも、近道など存在しません。

テレビである被害者の話がありました。「相手を信頼して、老後の生活費3000万円をオーナー制度の会社に投資しました。ところが、会社が倒産し、お金は、一切戻ってきません。これから、どうして暮らしていけばいいのか、困っています。」とのことでした。このようにうまい話に乗り、少しのもうけのために、生活が破壊されてしまいます。

私も若い頃、調子に乗って、ホテルの会員になりました。会員になると、ホテルに無料で宿泊できます。勿論元金は、必ず返金するとのことでした。しかし、突然ホテルの会社が、倒産し、会社更生法の適用を受けましたが、その後、一切返金はありませんでした。会社更生法の説明会に行きましたが、この時も高齢者の方々がかなり多くいました。この方々のこれからの生活を思うと、会社に対する憎しみが増しました。

この時以来、「濡れ手で粟」のようなことは、決してしないと誓いました。この世の中に、うまい話なんて、ないんです。皆さんも十分ご注意下さい。



頑張りすぎない 128



今の世の中、仕事・勉強・生活に頑張っている人が、多くいます。頑張っていることは、大変素晴らしいことです。頑張ることで、情熱が燃え、心や身体が元気になり、チャンスが訪れます。

しかし、頑張りすぎて、心と身体が、くたくたになっている人も多くいます。くたくたになり、身体を壊したり、精神的な病気になったり、イライラして、家庭が崩壊したりしています。

また、若い時は、頑張りすぎてもなんとかなったのに、年をとってから、心と身体が、急に異常を起こす場合があります。ツケが年をとってから、回ってくるのです。大変残念なことです。

心と身体は、頑張りすぎると、悲鳴を上げてしまいます。あなたの頑張りすぎが、しだいに心と身体を蝕んでいくのです。心と身体は、時々メンテナンスしないと壊れてしまいます。

どのようにメンテナンスすれば、いいのでしょうか。

- ☆ 十分睡眠時間を取り、しっかり疲れを取る。
- ☆ 時々会社・学校などを休み、家でゆっくり過ごす。
- ☆ 病院に行き、検査・相談等をする。
- ☆ 一日の中で、暇を見つけて、時々休憩を取る。
- ☆ 友だち・親など力になってくれる人に、相談する。
- ☆ 休みの日に、自分の好きなことをして、楽しむ。
- ☆ 頑張っている自分を認めてもらおうと、見栄を張らない。

目の前の事に、熱中しすぎて、気づいた時には、心も身体もボロボロだったということがないように、自分の心と身体を、自分自身で守ってあげましょう。心と身体も消耗品です。頑張りすぎて、使いすぎると、早めに使えなくなってしまいます。

頑張りすぎないで、心と身体のメンテナンスを上手にしながら、充実した人生を送りましょう。



負けるが勝ち 160



人は、誰かと競争し、勝つことが好きです。

- あの人より、今回のテストの成績は良かったので、勝つことができた。
- あの人より、今回は自分の方がボーナスアップの割合が高かった。
- この前は、自分の売上げがあの人より低かったけど、今回は自分の方が高い。

このように誰かと競い合い、勝ち負けにこだわります。

勝てば喜び、負ければ悔しがります。

例えば、会社の営業ノルマがあり、頑張ってノルマの成績が良い時は、他の人には勝っているので、喜びに溢れ、優越感に浸ることができます。

しかし、他の人のノルマの成績が良く、自分が悪い時は、他の人に負けたことになり、悔しがり、劣等感を感じます。

こんなことが、何回もあれば、そのうち身体も心も、くたくたになってしまいます。

相手と張り合い、一喜一憂を繰り返したら、いつまでも心が穏やかになりません。

相手との競争をしなくてもいいのでは、ないでしょうか。

競争しても負けてもいいのでは、ないでしょうか。

勝ち負けにこだわらなければ、相手に対してイライラすることもなく、気持ちが楽になります。負けた方が、相手から羨まれることはなく、周りから優しくしてもらえることもあります。

負けるが勝ちです。負けることで、心の穏やかさと余裕を大切にしましょう。



トラブルの時こそ知恵を絞れ 193



日常生活において、思いがけないトラブルが、起こることがあります。

- 買ったばかりの電化製品が、動かないと会社に苦情の報告があった。
- 順調に進んでいた仕事が、トラブルのために、進まなくなった。
- 車で会社に行く途中で、交通事故を起こした。
- 納品する約束の時間を間違えて、納品してしまった。

このようなトラブルが、起こることがあります。
そんな時こそ、次のような態度が必要です。

- ☆トラブルの内容を的確に、把握する
- ☆自分で知恵を絞り、トラブル解決のための方法や手順を考える
- ☆他の人の知恵を結集して、考える
- ☆解決のために手順に従って、順序よく行動する
- ☆平常心で冷静に考え、行動する

このようなことができれば、必ずトラブルを解決できるでしょう。
トラブルの時こそ、自分や皆の知恵が活躍できる機会です。
トラブルを解決することが上手な人は、皆から尊敬され信頼されます。

トラブルの時こそ、自分や周りの人の知恵を絞り、英知を結集し、解決していきましょう。
ぜひトラブルに強い人に、なってください。
どんな時も動じない人に、なってください。
トラブルこそ、あなたが最高に輝くチャンスです。



失敗は学びのチャンス 224



人生は、学びの連続です。
学びを繰り返す中で、人は自分を大きく成長させます。

学校での学び、読書での学び、友だちからの学び、仕事での学び、旅行での学びなど、多くの学びがあります。

学びの中でも、大変貴重な学びは、失敗からの学びです。
失敗すると凄く悲しくなったり、ゆうつになったりします。
そういう時こそ、いい勉強になるのです。

失敗を二度と繰り返さないようにすることが、大切なことです。

○ パソコンのデータを一括で消してしまった。

☆ (データ管理を、徹底するようになった)

○ 軽い接触事故を起こした。

☆ (車間距離を取るなど安全に気をつけて、運転するようになった)

○ 商品納入までに、全ての商品が完成しなかった。

☆ (問題点を点検・改善して、納入期日までに商品完成が、確実にできるようになった)

○ 約束した話し合いの日が、間違っていた。

☆ (スケジュール管理を、徹底するようになった)

失敗は、誰にでも起こります。

失敗を反省し、学びのチャンスと考えましょう。

失敗から多くのことを、学びましょう。

失敗して、痛い目を合うのは、ありがたいことです。
あなたの学ぶべきことを、教えてください。

失敗から学び続ける態度が、あなた自身を鍛え、自己成長につながります。



悪いとすぐ判断しない 269



いろいろな物、出来事、状況、他の人などを、悪いとすぐ判断する人がいます。

- この野菜は、悪くなっている。
- あの人は、言うことを聞かないので悪い人だ。
- このままの景気の状況であれば、悪くなるばかりだ。
- 事故を起こしたのは、あの人が悪いからだ。

判断したように、確かに悪いのかもしれませんが。
しかし、悪いとすぐに判断して、いいのでしょうか。
いつも悪いことだけに目が行き、安易に悪いと判断していないでしょうか。

悪いとすぐに判断して、切り捨ててしまって、いないでしょうか。
すぐに悪いと言われた人は、あまりにも可愛そうです。

人は、いろいろな見方ができ、それに基づいた判断ができます。
あなたが、悪いとすぐに判断したことは、見方を変えると良いことかもしれません。

- ☆ テストの点数が、80点だったので、努力不足で、悪いと判断する人がいます。
- ☆ テストの点数が、80点だったので、努力が実り、良いと判断する人がいます。

☆ 今年は、どこの農家も野菜がたくさん収穫できたので、値段が下がり、悪いと判断する人がいます。

☆ 今年は、どこの農家も野菜がたくさん収穫できたので、消費者が喜んでくれるので、良いと判断する人がいます。

ある人にとっては、悪いことでも、別の人にとっては、良いことなのです。
どの視点で見るかによって、悪い面と良い面があります。

悪いとすぐ判断しないようにしましょう。
できれば良い視点から、良い面をしっかりと見て、判断していきたいものです。



一瞬で未来を奪われる交通事故 287



命がなくなること以上に、不幸なことはありません。

命は、かけがえのないものです。

一瞬で命を落とし、その人の未来を奪われるのが、交通事故です。

幸せに生きるためには、交通事故を起こさない、交通事故に合わないことが大事です。

あまりにも衝撃的な交通事故が起こりました。

2019年4月19日に東京都豊島区の池袋の路上で、男性(87)運転の乗用車が、時速100キロ以上のスピードで暴走し、ハンドル操作をせず次々と人間を轢き、2人の母子が死亡、8人が重軽傷を負った交通事故です。

妻(31)・娘(3)を亡くした夫が、会見を開き、次のように述べました。

「最愛の妻と娘を突然失い、ただただ涙することしかできず、絶望しています。娘がこの先どんどん成長し、大人になり、妻と私の元を離れ、妻と寿命尽きるまで一緒にいる。そう信じていましたが、たった一瞬で私たちの未来は奪われてしまいました。悔しくて悔しくて仕方がありません。この悔しさはどれだけ時間が経っても消えないでしょう。」

「それぞれのご家庭で事情があることは重々承知しておりますが、少しでも運転に不安がある人は車を運転しないという選択肢を考えて欲しい。また、周囲の方々も本人に働きかけて欲しい。家族の中に運転に不安のある方がいるならば、いま一度家族内で考えて欲しい。それが世の中に広がれば、交通事故による犠牲者を減らせるかもしれない。そうすれば、妻と娘も少しは浮かばれるのではないかと思います。」

痛ましい事故で、可愛そうでなりません。

交通事故に合われた二人のご冥福を、心からお祈り申し上げます。

そして、あらためて交通事故を起こさない、交通事故に合わないように、日々努力していきたいと思えます。

交通事故を起こす要因を紹介します。

☆ スピードの出し過ぎ

☆ 一旦停止などの交通ルール無視

☆ あおり運転

☆ 飲酒運転

☆ 運転中の携帯電話使用

☆ 病気・治療中・服薬中の運転

☆ 高齢者の運転

このような要因で、交通事故が起こり、毎年多くの方々の方が亡くなられています。

平成30年中の交通事故による死者数は、3,532人でした。

車は、人を殺すことができる銃と同じです。

運転は、銃の引き金に指をかけて、動いているのと同じなのです。

交通事故による死者が減り、多くの方が幸せで、生きられる世の中にしたいものです。

失敗の数だけ幸せになれる 304



誰でも今までに、いろいろな失敗を経験しています。
自分の失敗の数は、多いでしょうか、少ないでしょうか。

少ない人は、失敗しないように、十分注意して、堅実な道を歩いて来たのでしょう。
失敗が多い人は、思いっきり取り組み、失敗が多くて、恥ずかしい思いを多々したことでしょう。

どちらの人も素晴らしい人生を、歩いてきたと言えます。
しかし、どちらが幸せかと言うと、失敗が多い人が、幸せなのです。

- ☆ 夢や目標を持っている。
- ☆ 実現するためのアイデアを考えている。
- ☆ 行動する勇氣を持っている。
- ☆ いろいろと行動を起こし、チャレンジしている。
- ☆ 予想外で、上手いかず失敗する経験をしている。
- ☆ 失敗の経験をもとに、改善の材料を得ている。

失敗の数だけ、このような貴重な経験をしています。
大変ありがたいことです。
お金にも換えがたい、素晴らしい経験です。

人生は、山あり谷ありです。
だから人生は、楽しく幸せなのです。
平坦な道ばかりだと、つまらない人生になってしまいます。

失敗の数だけ、幸せになれるのです。
失敗の数は、生き生きと、生きている証なのです。

失敗の少ない人は、今からでも遅くありません。
思いっきりチャレンジしませんか。



失敗した人に寄り添おう 367



仕事ができ、会社の地位も高い人がいました。
将来は、さらに会社の重要な地位に就きそうな人です。
周りの人たちは、その人を信頼し、仲良くお付き合いをしていました。

ところが、その人が重要な仕事で上手くいかず、大きな失敗をしてしまいました。
会社の地位も低くなり、将来がどうなるかわからなくなりました。
その人は、自信をなくして、仕事も思うように進みません。

このような人を見たことがある人は、いるかもしれません。
人生とは、本当にどうなるかわからないものです。
問題は、その人に対する周りの人たちの関わりです。
多くの人が、失敗した人から、去って行きました。
その人は、一人ぼっちになってしまいました。

このような周りの人の対応を、あなたはどのように思いますか。
これ以上関わり続けても、自分にとっていいことはない。
この人は、もうこれからの希望はなく、終わってしまった。
失敗したのは、その人のせいだから、私には責任はない。
このように、周りの人は思ったのかもしれませんが。
失敗をした人は、周りの人の対応に、深く傷つくでしょう。
似たようなことは、仕事や日常生活などで、多く見られます。

- 受験に失敗した。
- 恋愛・結婚に失敗した。
- 新しい企画に失敗した。
- 約束の期日を守らなかったで、相手からの信頼を失った。
- 予定した仕事が、上手くいかず、思った結果が出なかった。

このような場合に、失敗した人は、深く傷つきます。
失敗した人に対して、逃げずに、その人の気持ちになって、寄り添いましょう。

- ☆「辛かったことを話すと、気分が楽になるよ。」といっしょに、悲しみを分かち合いましょう。
- ☆「失敗したけど、今までよくやっていたよ。」と言って、よかったことをほめましょう。
- ☆「今度は、上手くいくように、私も手伝うよ。」と協力しましょう。
- ☆「何かあったら、私に相談してね。」と話し相手になりましょう。

失敗した人に、辛く接するのか、失敗した人に寄り添うのか。
あなたは、これからどちらの立場に、立ちますか。

失敗は、誰でもすることなのです。
失敗したことを非難せず、受け入れましょう。
すべての人を包み込み、愛せるあなたは、素敵です。

失敗恐れずまずはトライ 456



あなたは、失敗を恐れず、まずはトライする生き方を貫いているでしょうか。失敗が怖くて、なかなかトライする勇気がない人も、多いかもしれません。

しかし、いつまでも怖がっていたら、自分の成長や成功を手に入れることはできません。まずはトライして、具体的な行動が必要なのです。

ここで、熊日新聞掲載の高校生の作文「失敗恐れずにまずはトライ」を紹介します。

日本人はどうして完璧を求めすぎるのだろうか、失敗を恐れるのだろうか。

私は、幼い頃から失敗し、笑われることが怖かったため人前に出ることが苦手だった。「失敗＝悪い」、「失敗してはいけない」という考えがあったからか、何をするにも安全な方法を選び、周りに合わせて過ごしていた。

しかし、高校一年生の時、市の事業で訪れたアメリカでの経験によって、私はこのような考えから脱却することができた。

それは、現地の高校の授業に参加した中でのことだ。

先生の話の合間に多くの生徒がちゅうちょすることなく、当たり前のように質問や意見を始める。

そして、生徒はその発言を批判することなく受け入れ、また先生は「良い質問だね！」と内容や発言したという姿勢を賞賛するのだ。

さらに、授業の課題解決に向け、助け合う姿と自由かつ温かい空間がそこにはあった。

衝撃を受けた。

先生からの問いに対して、自分の考えに自信がないからと下を向いてしまう私とは違ったからだ。

この経験から私は「失敗してもいい、むしろ挑戦して失敗を重ね、成長につなげた方がいい」という考えに変わることができた。

また失敗を恐れず、自信を持って発言できるようになった。

私はこれから「トライアル&エラー」という言葉のように、失敗してもいいからまずはやってみる。

失敗し続けても挑戦することをやめない、ということを中心に留めて生活していきたい。

そして、失敗しても「嘲笑」ではなく「楽笑」、楽しく笑い合える空間をつくっていきたい。

この高校生の作文を読んで、アメリカでの経験が、失敗を恐れずトライする勇気と、自分に対する自信を与えてくれたと、強く感じました。

人生における素晴らしい考え方・生き方なのです。

この高校生がこれから自分の人生を、明るく切りひらいていくように確信します。

これからどんなことが起ころうが、楽しく笑い合って生きて欲しいと願います。

後悔しないで生きよう 495



「後悔」の言葉の意味は、自分のしてしまったことを、後になって失敗であったと悔やむことです。「今さら後悔しても始まらない」の言葉のように、失敗などしたことは、悔やんでも取り返しがつかないのです。

しかし、何か失敗や悪いことが起こると、自分の判断や行動の誤りに責任を求めます。そのようなことをしなければ良かったと、後悔し自分を責めてしまいます。

後悔も短時間で終わればいいのですが、いつまでも後悔を引きずってしまいます。これでは、元気が出ませんし、自分の判断や行動に不安が残り、前を向いて進むことができなくなります。

物事をくよくよ思い煩うことは、しない方がいいのでは、ないでしょうか。

江戸時代初期の有名な剣豪で、宮本武蔵がいます。小説や映画などで、あまりにも有名な巖流島での佐々木小次郎との決闘があります。数多くの剣の試合で、一度も負けることはありませんでした。

その宮本武蔵が、「われ事において後悔せず」と、名言を残しています。武蔵は、「自分は決して後悔というものをしないんだ」と言っています。

武蔵は、剣術修行のために、一生の間に六十回以上も命を賭けた立ち会いをしました。当時は、まだ竹刀というものがないから、固い木刀か、真剣で試合をしたのです。

このために武蔵は、相手の実力や流儀をよく調べ、自分のコンディションを最善にして、試合に臨んだことでしょう。そして、自分の実力が劣っていて負けたら仕方がない、と覚悟を決めていたのではないのでしょうか。

武蔵のように、しっかり考えて、自分の判断や行動をするようにしましょう。そして、自分の判断や行動を信じ、責任を持ちましょう。

そうすれば、きっと良い結果が、ついてくることでしょう。もし悪い結果でも、今自分の持てる力は、出し切れたと考え、後悔しないようにしましょう。

**後悔しないで、生きましょう。
後悔しない生き方が、あなたの大きな力となるのです。**



挑戦や失敗に寛容になろう 497



今の社会は、挑戦しようとするより、無難にできることを求めています。失敗に寛容でなく、失敗しないことを求めています。マスコミでは、失敗や問題点を大きく取り上げ、追求・批判します。私は、このように感じる時が、多々あります。もっと挑戦することや失敗することに、寛容でいいのではないかと思います。公園などで、小さい自分の子どもに対して、親が次のようなことを言って、叱っています。

- それに上るのは、高いから危ない。止めなさい。
- 泥遊びは、汚れるから、着ている服が汚くなる。泥遊びは止めなさい。
- 知らない人とは、いっしょに遊んだらダメです。 ○ 恥ずかしいことをしたら、笑われるよ。

このように、子どもの自由な言動を、制限してしまうのです。苦野一徳熊本大教育学部准教授は、くまにちの論壇で、次のように述べています。

「遊び浸るから学び浸るへ」これは幼児教育の基本である。自由にたっぷり、自分の好きな遊びに熱中する。その経験が、子どもたちの好奇心を育み、さまざまな課題に取り組む「探求」する力の土台になる。そんな遊びの過程で、子どもたちはけがをしたり、けんかをしたりすることもある。でもそうした経験を通してこそ、彼ら彼女らは、体の使い方を学んだり、人間関係の調節の仕方を学んでいったりするのだ。「ダメ、危ない、やめなさい」。そんなことばかり言われて育った子どもたちは、少し大げさに言うなら、自分の人生をたくましく切り拓く力を育む機会を奪われているのだ。

述べられていることは、子どもに限ったことではありません。大人も次の様な言葉を、平気で言う人がいます。

- 無理なことは、しないようにして下さい。 ○ 新しいことの挑戦は、難しいだろう。
- 失敗したら責任はどうするのか。 ○ 全部自分だけの力で、最後までやりなさい。

このように、挑戦することや失敗することの不安をあおり、その責任を本人に、負わせようとするのです。

これでは、身動きができなくなります。次の様な言葉をかけましょう。

- ☆ 思い切って挑戦してごらん。 ☆ あなたの挑戦をみんなで、応援します。
- ☆ 挑戦に失敗はつきものです。失敗しても気にしなくていいよ。
- ☆ 失敗した責任は、私がとるので、心配しないで挑戦して下さい。

このような言葉で、挑戦や失敗への不安が、なくなることでしょ。人生は、挑戦と失敗の連続なのです。**挑戦や失敗に、寛容な態度こそ、大切なのです。**

短気で失敗しない 571



誰でも短気で、失敗したことがあると思います。

- カットなって、相手の弱点を責めた。
- 頭に血が上って、相手を叩いてしまった。
- 腹が立って、悪口を言ってしまった。
- 焦って、考えずに間違った命令を出してしまった。

このような経験で、失敗し反省します。

ことわざに「短気は損気」があります。

意味は、短気を起こすと自分が損をすることになるという、短気を戒めている言葉です。

短気とは、忍耐力がなく我慢ができない性質や、ちょっとしたことですぐ頭に血が昇ったり、喧嘩っ早かったりすることや人を指します。

損気は、短気と音を合わせて「損」に「気」を添えた語で、損失を招きやすい気質のことです。

短気を起こした状態は、感情が高ぶり理性的な判断ができなくなっています。

あとさき考えずに言うてはならないことを口走ってしまったり、無用な喧嘩を吹っかけてしまったりすることで、人間関係が悪くなり後に禍根を残す元にもなりかねません。

良好な人間関係を構築するまでには、長い時間と努力が必要です。

短気による損失は想像以上に大きく、取り戻すことが難しいため、昔から「短気は損気」と戒められてきたのでしょう。

「短気は損気」は、近松門左衛門の人形浄瑠璃が由来です。

演目のひとつに「冥途の飛脚」という作品があり、そのなかに「短気は損気の忠兵衛」があります。

飛脚屋の主人である忠兵衛が、短気な性格が災いして公金を使い込み身の破滅を招いてしまうといったストーリーです。

客へ金を届ける飛脚屋が自らを冥途へ送ることになってしまったわけで、短気が死罪という割に合わない損失につながってしまう、怖い事例でもあります。

短気で失敗しないためには、どうしたらいいのでしょうか。

- ☆ 人は誰でも、短気であることを理解する。
- ☆ 落ち着いて相手の話を聞き、相手の立場を理解するようにする。
- ☆ 自分の心を落ち着かせるために、時間を十分確保する。
- ☆ 慌てずじっくりと考え、判断・行動する。
- ☆ 物事の解決や結果を急がない。

幸せな生活を送っている人や成功している人も、若い頃は、短気で失敗の経験を多くしているのです。

経験を踏まえ、上手に自分の心をコントロールしているのです。

短気で大きな失敗をしないように、いろいろな経験を積みながら、徐々に自分の心を鍛えていきましょう。

もし失敗しても、失敗の反省を生かして、自分を成長させましょう。

困った時がチャンス 591



ピンチはチャンス。

日本では、4という数字は、「死」につながるとされ、嫌われてきました。しかし、44という数字は、4が二つあるので、4合わせ(幸せ)と呼ぶことができます。

同じように欧米の一部では、13という数字も、不吉な数字に思われています。しかし、ヒンズー教では、13日は神の力が宿る吉日とされています。

ヨーロッパでは、満月に狼男が現れるという伝説があり、満月は不吉とされています。しかし、日本では、満月には「お月見」を行い、その美しさを楽しんでいます。

このように物事は、考え方ひとつで、良くなったり悪くなったりします。例えば会社が、倒産の危機に陥ったとします。

そんな時に、「困った、困った、もうどうしようもない。」と考えてしまえば、必ず会社は倒産する結果になります。

「今こそ会社をみんなで再生するチャンスだ。力を合わせて再生させるための努力をしよう。」と考えれば、みんなの行動が前向きに変わり、会社倒産の危機は、回避されることになるのです。

みんなの力で、倒産を乗り越えた会社が、大きな成長をする場合もあります。困った時に「困難」と考えるか、「チャンス」と考えるかで、未来が明るくなったり暗くなったり、楽しくもつまらなくもなります。

未来は、今の延長上にあるのです。

困った時こそ、チャンスと考え、目の前の問題をいいことの種に変えれば、いいことの花が咲くことでしょう。

困った時に、チャンスにできるかどうかは、あなたの心しだいなのです。



困難から逃げない人になろう 598



困難から逃げたのに、また困難がやってくることはありませんか。

- 職場で与えられた事務の仕事が嫌で、別の職場に変わったけど、前の職場と同じ嫌な事務の仕事させられた。
- 学校の今のクラスでいじめられるので、学年が上がり別のクラスになったけど、このクラスでもいじめられる。
- 会社の上司からよく注意を受けるのが嫌で、別の課に異動したけど、ここでも上司からよく注意を受ける。

これと似たような経験をした人が、いるかもしれません。
仕事であれ人間関係であれ、なかなか困難から逃れることはできないのです。

「困難は避けようとする、その人についてまわる」という法則があります。
心が弱く、失敗を恐れすぐに逃げようとする、逃げるところについてくるのです。

困難から逃げようとする心を持っているので、困難を意識してしまい、心が困難を再び引き寄せるのです。
困難から逃げることを考えるより、「どうやって乗り越えようか」と真剣に正面から向き合ってみましょう。

自分が恐れていることを、あえてするのです。
困難から逃げないで、困難に立ち向かっていくのです。

「私は決して逃げません」と思い切って宣言しましょう。
逃げずに困難なことに正面から向き合う人には、たくさんプレゼントがあります。

- ☆ 事務の仕事が、完璧にできるようになる
- ☆ 誰とでも仲良くなれる人間性が身につく
- ☆ 上司から多くのことを学ぶことができる

困難を克服することで、今までの困難が、困難でなくなります。
何回も困難を乗り越え続けると、不思議と困難と出会わなくなります。

心も強くなり、困難に果敢に立ち向かっていく、逞しい人になるのです。



利益第一主義に走らない 643



会社や企業は、売上げを追い求めるものです。
去年より今年、今年より来年と、数値目標を掲げ、達成に向けて努力を重ねることで成長します。

数値目標に執着して、数値を達成するために必死になります。
気がつけば、利益第一主義に走っているのです。

そのせいで、今世の中は大きな問題が、表面化しています。

- 長時間労働を強いられる労働者が多い。
- 精神的な病気の人が増えている。
- 自殺に追い込まれる人がいる。
- 不正を平気でする。
- 責任を部下や弱い人に押しつける。

このような問題が、いたるところで起こっています。
利益第一主義では、人々は幸せを手に入れることが難しいのです。

人は何のために働き、何のために企業があるのでしょうか。
ここで、利益第一主義でない店を紹介します。

従業員が無理なく働けて、お客さんにも満足してもらうにはどうすればいいのか。
京都市でステーキ丼専門店を営む中村朱美さんがたどり着いた答えは「売上げを減らす」だった。
夜の営業をやめてランチタイムのみに絞り、1日100食を売り切ったら営業終了。
残業がないので従業員のモチベーションが上がり、余裕を持って接客できるようになった。
「食品ロス」もほぼゼロ。
ステーキ丼のさらなる工夫をすることが、できるようになった。
売上げ至上主義をやめたことで、さまざまなプラスの変化が起きた。

会社や企業は、本来ならお客などの幸せ・従業員の幸せ・会社の幸せ・世の中の幸せのために存在しているのです。

利益第一主義に走ることをやめましょう。
幸せ第一主義になりたいものです。



苦手なら好きになろう 649

苦手



人は、苦手なことをいくつか持っています。

- 運動が苦手
- あの人が苦手
- 仕事でセールスが苦手
- 子どもといっしょに遊ぶのが苦手
- 勉強が苦手
- 部屋を片付けるのが苦手

このような苦手なことからは、逃げていたいものです。

苦手のままでもいいのなら、苦手でもいてもいいでしょう。

しかし、苦手のままでは、成長はありません。

あなたの意識が、苦手とと思っているだけで、ひょっとすると本当は苦手でないかもしれません。

まずは、そのことを苦手と思いつまないことが大切です。

苦手意識があると、無意識に苦手なことから逃げてしまいます。

苦手なことに対する意識を変えてみましょう。

苦手なことを好きになってみましょう。

ここで、熊本日日新聞掲載、女子中学生の「苦手の数学が好きになった」を紹介します。

私は、中学2年生になって好きになった教科があります。

それは、数学です。

私は、1年生の時は数学が1番苦手で、数学という言葉を聞いただけで頭が痛くなるほどでした。しかし、2年生になり難しくなることを覚悟していたのですが、この時にあることわざについて考えてみました。

それは「好きこそものの上手なれ」ということわざです。

このことわざには、好きなものほど上達するという意味があります。

そこで私は、「数学を好きになれば得意になるのでは」と思い、分かるように自分で工夫して勉強することにしました。

こうしているうちに、意識的に数学が好きになっていき、今では80点以上を普通にとることができるようになりました。

この経験を通して私は、どんな苦手なことでも、意識だけでも好きになるように努力すれば、得意になることもできるということを学びました。

これからも、苦手なものを一つでも好きになれるように努力しようと思います。

女子中学生は、苦手な数学を好きになり、努力の甲斐があって数学の成績が良くなりました。

「好きこそものの上手なれ」の言葉の意味を、体験を通して学ぶことができました。

「好き」という意識の力の素晴らしさを強く感じます。

苦手なことから、逃げたり避けたりすることを止めましょう。

「苦手なら好きになろう」と意識を変えてみましょう。

きっと苦手なことが、得意なことになっていくことでしょう。

苦手なことは、本当はもっと上手になりたいことなのです。

驕り高ぶる人は身を滅ぼす 676



同じ子ども時代の仲間、学生の仲間、会社の仲間、大変仲良くしていた人がいます。しかし、仲良くしていたのに、急に態度が変わる人がいます。冷たくなったり、命令的になったりなど態度が変わるのは、仲間時代に比べ、自分が偉くなったなどと思い、仲間を自分より下に見てしまうからです。

- 自分の方が、学校の成績がよい
- 自分の方が、金持ちだ
- 自分の方が、会社で偉くなった
- 自分の方が、いい暮らしをしている

このように、驕り高ぶる(おごりたかぶる)人がいます。そのことを自覚している人より、自覚していない人が多いのです。驕り高ぶるの意味は、「他人をあなどり、思い上がった態度をとる」です。

ここで、「鼻たれ小僧(中国の昔話)」を紹介します。

一人のおじいさんが、たきぎを売って細々と暮らしていました。

しかし、その日は、たきぎがまったく売れません。

おじいさんは、疲れて橋の上に座り込んでしまいました。

家まで、たきぎを背負って帰る力も出ません。

そこで、おじいさんは、たきぎを川の神様に差し上げようと思いつきました。

「神様。つまらぬ物ですが、どうか受け取ってください」

こういって、たきぎを川に投げ入れました。

すると、川から子どもを抱いた美しい女の人が現れ、こういいました。

「私は川の神様の使いです。神様はオマエの心がけをとてもお喜びで、お礼にこの鼻たれ小僧を差し上げるとのことです。鼻たれ小僧に頼めば、何でも願い事を聞いてくれるでしょう。ただし鼻たれ小僧には、毎日エビをあげなさい」

こういうやいなや、女の人はおじいさんに鼻たれ小僧を渡すと、川に消えてしまいました。

おじいさんは、鼻たれ小僧を抱えて、家に帰りました。

そして、まずは「お米が欲しい」といってみると、本当に目の前にパッとお米が出てきたので、その日は、ご飯をお腹いっぱい食べることができました。

「ありがたい。ありがたい。久しぶりに、こんなにおいしいご飯を思うぞんぶん食べられた。これも川の神様と鼻たれ小僧のおかげだ」と喜び、鼻たれ小僧を大切にしました。

それからというもの、おじいさんは、お金や家など、欲しい物を次々に頼み、一ヶ月もすると大金持ちになりました。

すると以前とは、別人のようにぜいたくで、わがままになってしまったおじいさんは、鼻たれ小僧にあげるエビを買いに行くのも面倒になり、ついつい「もう頼むこともなくなったから、川の神様のところへ帰っておくれ」といってしまいました。

すると、家やお金もろとも鼻たれ小僧は消えてしまい、また元の貧しい暮らしに戻ってしまいました。

おじいさんは、大いに後悔したのです。

この話に登場するおじいさんが、鼻たれ小僧に対して、感謝の気持ちを忘れることなく、毎日、エビを与えていたなら、ずっと幸せでいられたことでしょう。

ぜいたくやわがままになり、心や態度が変わったのです。

この話のように、驕り高ぶる人は、いつかは身を滅ぼすのです。

「おかげさま」の気持ちを持ち、すべての人に感謝の言葉をずっと言い続ければ、身を滅ぼすことはないのです。

有頂天にならない 693



ある家族が、貧乏な生活をしていた時は、お金を大切にして、つつましく幸せに暮らしていました。

ところが、宝くじが当たって、大金が手に入り、大喜びをしました。

それから家族の人生が、大きく変わったのです。
お金があるせいで、有頂天になってしまったのです。

家族みんなで、お金をどんどん使ってしまいました。
そして、お金がなくなり、その後さらに借金を積み重ねてしまいました。
そこから、貧乏で不幸な生活になってしまったのです。

仏教では、「人の心を感わず、八つの風がある」と教えています。
それが、「八風（はっふう）吹けども動ぜず」という禅語の中にある「八風」です。
「これらに感わされずに、生きていってください」という教えが、「動ぜず」の言葉に込められています。

- 「利（り）」・・・思いが叶うこと
- 「衰（すい）」・・・思い通りにならないこと
- 「毀（き）」・・・陰で悪口を言われること
- 「譏（き）」・・・目の前で、悪口を言われること
- 「誉（よ）」・・・陰で、褒められること
- 「称（しょう）」・・・目の前で、褒められること
- 「苦（く）」・・・辛い経験をする
- 「楽（らく）」・・・楽しい経験をする

「衰」「苦」「毀」「譏」という辛い経験をしたときも、思い詰めることなく、希望を失わないことです。

人の噂など相手にせず、しっかりと自分のやるべきことを果たしていくことです。

面白いのは、「利」「誉」「称」「楽」という幸せな経験も、人の心を感わずと教えているのです。

好調のときや、長年の夢が叶って幸せでいっぱいするときこそ、いい気になって浮かれてしまい、自ら不運を招く人が大勢いるのです。
先ほどの家族は、これに当たるのです。

幸運の後には、また様々な困難がやってくるので、それに備えて、心づもりをしておくことが大切だと教えています。

辛いときは、前向きに生きましょう。
幸せなときは、有頂天にならないで、謙虚な気持ちと慎重さが必要なのです。

人の目を曇らせる欲メガネ 696



自分に都合のいい、現実離れた夢や期待は、「人の目を曇らせる欲メガネ」で、物事を見るようになりがちです。

- あの人と結婚すれば、最高の幸せを手に入れることができると思い、結婚した。
- 絶対に儲けると確信して、大金を投資した。
- テレビの通販番組で紹介された、画期的な便利グッズを購入した。
- この会社に入社すれば、仕事を楽しめると思い入社した。

このように、欲メガネで見て、期待してしまうのです。
ところが現実には、大きく違っているのです。

- ◎結婚したけど、辛い日々を送って、とうとう離婚をした。
- ◎大金を投資したけど、大損して、借金ができた。
- ◎便利グッズを買って、実際使ってみたけど、役に立たなかった。
- ◎楽しい会社と思っていたが、ブラック企業だったので、退社した。

このように、「こんなはずじゃなかった」と、後悔してしまいます。
しかし、何故、後悔するような結果を招いてしまうのでしょうか。

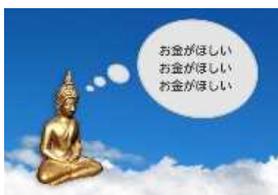
この疑問に答えをくれるのが「一翳眼に在れば空華乱墜す（いちえいまなこにあればくうげらんついで）」という禅語です。

「一翳」とは「ちょっとした影」という意味で、「人の欲望」を暗示しています。
つまり、「欲望を持ってものを見ると、現実には存在しない、幻の花が空を舞い飛んでいるのが見えてくる」といっているわけです。

「こんなはずじゃなかった」と、後悔してばかりいる人は、いつも欲メガネで見がちなの
かもしれません。
人の目を曇らせる欲メガネをはずしましょう。

夢や期待が、欲にならないように、注意しましょう。
日頃から物事を落ち着いて、冷静に見るようにするといいでしょう。

欲を捨てて、物事を見ると、正しく見えるようになるのです。



劣等感をバネに強く生きる 739



高校生に入学した頃の話です。

親元を離れ、高校の寮に入り、生活していました。

ゆっくりと過ごしていた所に、寮の監視をされる寮長さんが、私に近づいて来ました。のんびりとしている私に向かって、次の様な言葉を言われました。

「あなたは、今度入学した生徒の中では、入試の成績はビリだったので、しっかり勉強を頑張りなさい。」と告げられたのです。

おそらく寮長さんは、励ましのつもりで言われたのですが、言われた方は、驚き勉強に対する劣等感を、抱いてしまいました。

入学当初の成績は、勉強もしなかったので、かなり悪い成績でした。

さらに寮長さんの言葉にショックを受け劣等感で、全くやる気が起こらなかったのです。

そのうちだいに、劣等感から、寮長さんに対する怒りが、込み上げてきました。

そして、絶対寮長さんを見返してやると決心すると、不思議なことに勉強に対するやる気が込み上げてきました。

それからは、休み時間も惜しんで、必死に勉強しました。

おかげで高校での成績は、上位に位置するようになりました。

当初は、恨みを持っていた寮長さんに対して、しだいに感謝の思いに変わっていきました。

劣等感をバネにして、意欲的に勉強することができたのです。

アメリカの実業家で、鉄鋼関係の仕事で大成功をおさめたことから、「鉄鋼王」と呼ばれていた人物に、アンドリュー・カーネギー（19～20世紀）がいます。

彼は、大変貧しい家に生まれ、スコットランドからアメリカに移住しました。

そこでも学校にも行けず、家のために少年の頃から働きました。

彼は、貧乏という劣等感を、自分の人生の味方にすることを学びました。

そこで、「事業で成功して、大金持ちになってみせる」という強い願望を持つようになり、一生懸命働き、ついに「鉄鋼王」と呼ばれるまでに成功したのです。

カーネギーは、「金持ちになるには、貧乏の家に生まれることである」という言葉を残しています。

この言葉は、貧しい家に生まれた劣等感をバネにして、より良い未来を作る力に替えれば、劣等感は人生の力強い味方になってくれる、と教えています。

誰にでも劣等感があります。

自分の劣等感と正面から向き合しましょう。

「劣等感があるからこそ、私は強い人間になれる」と信じましょう。

劣等感は、人生の宝になるのです。

劣等感をバネに、強く・逞しく生きていきましょう。

良いやり方がきっとある 770



一生懸命努力していることが、困難になり、上手くいかないことがあります。そんな時は、「もう絶望的だ。諦めるしかない」と思ってしまいます。

自分の殻に閉じこもって、自分を責め続けるかもしれません。でも、投げやりになっても、何も解決しません。

やり始めたことは、どんなことがあっても逃げずに、立ち向かっていく気概と勇気を持つのがいいと思います。

必ず良いやり方が、きっとあると信じましょう。粘り強く取り組めば、良いやり方が見つかります。

発明王の異名を持つ、発明家のトーマス・エジソンのことを紹介します。

エジソンは、小学校の教師に、「学習する知能がなさすぎる」と言われました。仕事は、2度「生産性がなさすぎる」と解雇されました。

その後、電球の発明に、必死になって取り組みました。何度も実験を繰り返し、成功するまでに、1000度の失敗がありました。

後にインタビューで記者に「1000回失敗したという気持ちは、どういうものですか」と尋ねられ、「1000度の失敗をしたわけではない。1000のステップを経て、電球が発明されたのだ」と答えました。

エジソンは、失敗を実験を改良するためのチャンスと考えました。もっと良いやり方が、きっとあると考え、工夫改善しながら実験を続けたのです。とうとう1000のステップを経て、見事電球を発明したのです。

どんなに困難なこと、苦しいことがあっても、解決するための良いやり方が、きっとあるのです。

今まで努力をしてきたのであれば、必ず解決することはできるでしょう。自分を信じて、逆境を乗り越えていきましょう。



終わることは始まること 791



夢・目標に向かって、夢中で取り組んでいます。
途中でつまずき、大きな挫折があります。

- スポーツでの選手生命が、終わった
- 希望大学の受験に、失敗した
- 会社から、リストラされた
- 結婚しようと思っていた男性から、フラれた
- 高校の試験で、大事な単位を落としてしまった
- 大切な友だちと、ケンカ別れをした

こんな時は、自分の人生が暗くなり、どん底に落とされたように感じます。
人生が終わったように感じますが、そうではありません。

ここで、中国戦国時代の思想家、墨子（ぼくし）の教えを紹介します。

商いに失敗して、一文なしになってしまった男がいました。
男は、墨子に、「私の人生は、これでおしまいです」と、ポツンとつぶやきました。
すると、墨子は男を杏（あんず）の木の前に連れていき、こう言ったのです。

「あの杏の木になっている実を、見てごらん。あんなに熟している。地面に落ちるのは、
時間の問題だ。しかし、それですべてが、終わるわけではない。杏の実は土に還（かえ）
り、木の栄養分となる。栄養分を吸った木は、再び、杏を実らせる。」
「人生もまったく同じだ。絶望的な状況を迎えたら、土に還ったと思えばいい。新たな人
生の始まりだと思えばいい」

**墨子の教えは、いくつも大きな挫折を経験する私たちにも、大いに参考になります。
リストラされたことは、自分に合った仕事に就けるチャンスだったり、脱サラして独立す
る可能性もあるのです。**

**このように思えば、「苦しみ」「悲しみ」「悩み」から解放され、未来を夢見る「希望」「勇
気」が、湧いてくることでしょう。
終わることは、始まることなのです。**



貧乏神に好かれるな 890



昔話や、ふとした普段の話題の中に登場する、「貧乏神（びんぼうがみ）」は、誰もが一度は、聞いたことがあるでしょう。

貧乏神は、取りついた人間やその家族を、貧乏にする神なのです。

ここで、江戸時代の奇談集、『兔園小説』を、紹介します。

江戸番町に、年中災い続きの家があり、その武家に仕える男があるときに、用事で草加へ出かけ、1人の僧と知り合った。

男が僧に、どこから来たのかと尋ねると、今まで男の仕えていた屋敷にいた、とのことだった。

男はその僧を、屋敷で見たことがない、と告げると、僧は笑いながら、「あの家には、病人が続出しているが、すべて貧乏神である、私の仕業だ。あの家は、貧窮極まった状態なので、ほかの家へ行く。今後、あなたの主人の運は、上を向く」と言って、姿を消した。その言葉通り、その後、男の仕える家は、次第に運が向いてきた。

このように、貧乏神に好かれると、不運な状態になるのです。

そこで、貧乏神が、とりつきやすいタイプを、紹介します。

- ①ギャンブルで失敗
- ②株に手を出して失敗
- ③浮気の後始末
- ④病気にとりつかれて
- ⑤麻薬中毒
- ⑥アル中
- ⑦怠惰
- ⑧見栄
- ⑨夫婦の不仲
- ⑩サラ金

このような状況の人には、貧乏神が、とりつきやすいのです。

とりつかれると、ますます状況が厳しくなり、災難が続き、どん底の生活を強いられます。

福の神に、好かれるのはいいのですが、貧乏神なら、困ったものです。

貧乏神に、とりつかれるのは、自分の心に、油断があるからです。

貧乏神に、好かれないうように、しましょう。

悪いことでなく、善いことをするように、しましょう。

機会を待ってパワーを充電しよう 909



カンボジアのことわざを、紹介します。

「川に入ればワニ、陸に上がれば、トラが待ち伏せ。家の中が、1番安心」

川に入って、泳ごうとしたら、ワニが、待ち伏せていた。
陸にあがろうとしたら、今度はトラが、待ち伏せていた。

どちらに行っても、危険であることには、変わらない。
こういうときは、家の中にいるのが、1番安全である。

このことから、「八方ふさがりで、何をやっても、上手くいかないときは、じっとしているのが、1番好ましい」、ということ、このことわざは、表しています。

人間には、バイオリズム、すなわち運勢の波が、あります。
何をやっても、上手くいくときが、あります。
逆に、何をやっても、上手くいかないときが、あります。

人生不思議なもので、いつも上手くいくことばかり続く、いつも上手くいかないことばかり続く、ということは、ありません。
上手くいくことが、続いたと思えば、次に上手くいかないことが、続いたりします。
これの繰り返しなのです。

問題なのは、上手くいかないときです。
そんなときに、躍起になって、動いても、ろくな結果は、出せません。
かえって、トラブルやアクシデントを、起こしてしまいます。

**上手くいかないことに、どう対応するかが、とても重要なのです。
上手くいかないことが、続くと思ったら、しばらくの間、状況の推移を、見守りましょう。
そして、事態が好転してくる機会を、じっと待ちましょう。**

**近い将来、きっと良くなることを、信じましょう。
来たるべき機会に備えて、ゆっくりとパワーを、充電しながら、待つことが、大切です。**

